

婦人労働
05.6
/

婦人労働
海外

GAa1/1

8-12-5

人労働資料第五号

労働省婦人少年局栃木職員室

アメリカに於ける看護婦の動向

―戦前と戦後―

労働省婦人少年局



女性と仕事の未来館



01077520

米国婦人局報第二〇号（一九四五年二月）

「保健医療業務における婦人職業の展望」

叢書中「専同看護婦」よりの抄訳

内容

専門看護としての婦人の将来

一 戦前の状態

戦前数と配置状況

看護活動と主な分野

看護婦需要の年々の増加

二 戦時中の変化

需要にあうわかれた変化

訓練による看護婦供給の増加

現在の看護婦の活用と再配置

有志看護助手の使用

三 収入、労作時間、昇進

四 特殊の雇用向願をもつ婦人への就職機会

年長の婦人

既婚婦人

ニグロの婦人

身体障害のある婦人

五 戦後の展望

戦後の看護婦供給

戦後の需要

人口と看護需要の増加

将来看護をうけるための用意

主な看護部門と特定の専門部門の見通し

・ 病院 療養所等の看護婦

・ 病院 看護婦学校の経営 監督 教授の職

・ 個人患者附添看護婦

・ 保健婦

・ 工場看護婦

・ その他、他の分野の看護婦

六 戦争と人口増加による看護婦の需要

七 看護業務を充実させるための需要

八 看護業務計画における社会の責任

九 看護婦は熟練と知識を増す責任がある

一〇 他への職業への轉換の可能性

二 看護婦の職業に戦争が與えた影響

専門看護婦としての婦人の将来

看護という仕事は、保健、医療業務のなかでは、他に匹敵するものがないところの、大きな職業である。一九四年度にこの業務についていたアメリカ人およそ百万人のうちの三分の一以上が看護人であつたが、婦人のあひだはことにこの職業が優勢である。すなわち保健、医療業務に従事している全婦人の半数以上（五九パーセント）専門的に訓練を受けた看護婦、又は看護婦生徒であつた。

全職業系列中、看護業務は、合衆国統計の報告によると、専門的職業中第二位、あらゆる種類の職業中第十三位にある。婦人労働者だけをとつてみると、看護は婦人が従事している主な職業中第十位で、専門的職業の中では、教員について第二位である。それ故、看護の仕事は国民保健上重要な根拠としてけかりでなく、その経済生活においても最大の専独職業グループの一つとして、団体的な意義をもっているものである。

一 戦前の状態

戦時数と配置状況

一九四〇年度には合衆国では三六万九千の人の訓練を受けた看護人および看護生徒のうち、九八パーセントが婦人であつた。模範人口調査によれば、この範疇の中にふくまれる職業の経験を持った婦人のなかで求職中または、臨時救済事業に従事しているものは五パーセント以下であつた。失業者の率は一三パーセントであつたが、看護婦の失

失業率はそれより少く、全専門的、半専門的労働者の失業率六パーセントに比較して看護婦の失業率はそれよりやや低い。一九四〇年度、看護婦に対する需要と供給の均衡は殆んど保たれていた。

都市には、医者より多数の看護婦が、そして男よりも女の看護婦が集中していた。男子看護人は、医者について配置されていたが、セハパーセントは都会に十九パーセント、非農業村落地域に三パーセントが、農場地域に一婦人の看護人八六パーセント、人口二五万人以上の都会に働き、一二パーセントが非農業村落地域に、二パーセントが農業地区に働いていた。一九四〇年度には人口に対し、訓練を受けた看護婦の率は都会では二四五人に一人、非農業村落地域では六三三人に一人、農場地域では三三六四人に一人の割合であつた。

合衆国の各地域によつて看護婦の配置割合が異つていたことが一九四〇年度の統計からである。西部及び北東部諸州では相対的には看護人の数は少ないが、実数は一番多く、北部中部諸州と南部諸州よりも多くの看護人がいる。

地

方

全就業看護婦に対する率

看護婦一人に対する人口

合衆国

一〇〇、〇

三七〇

北東部諸州

三七、三

二七一

北方中部諸州

二九、〇

三八九

南部

二〇、四

五七四

西部

一三、三

一九二

看護活動の主な分野

訓練を受けた看護婦の数は一八七〇年に付たつた一二〇〇人であつたが、それ以来増加し、看護活動の主要なる分野が飛躍した。

それらに主として病院・その他の機関における看護附添、公衆衛生および各産業事業所における看護である。一九四〇年度人口調査によつて就業中のものと報告された、三万六千〇〇〇人の看護婦のうち、実際には八万五千〇〇〇人は就業者でなく、看護婦学校の生徒であつた。これを差引いたあとが二七万一〇〇〇人の看護婦は病院・諸団体・個人、家、医療所、公衆保健所、医者の診療所、工場、学校、専門学校、及び政府の機

困乏していた。

主な看護分野

統計

一九四一年 配 置 率
一九三八年

諸団体	四七	二二
病人附添	二七	五四
保健	一〇	一九
産業	三	四
その他	六	一
不明	七	

一九四一年には、活動の出来る殆んど半数が、病院や看護学校やその他の団体で働いていた一方、その四分の一が病人の附添看護に従事していた。最近までは附添看護人は最も人数が多かったが、十年ほど前からは、看護婦は、長時間労働、勤分の不規則、就職の不安定及びわずかの純収入のような不満足な経済的條件のために附添の仕事から去

る傾向があつた。

病院・その他の看護団体への移動の範囲及び動向は、一九二八年の統計数字と一九四一年の統計数字を比較すれば明らかである。一九二八年には看護婦の半数以上が附添業務に従事していたが、一九四一年には、半数以上が病院や諸団体の仕事に従事してゐた。この数は一九三八年には、わずかに四分の一にもすぎなかつた。戦前約十年間におこつたこの病人附添から、病院その他の機関への移動は今尚著しい。一九四〇年度の就業看護婦数に関する一九四一年の人口の調査の数字によれば、八万五〇〇〇人の看護婦生徒に加えて約一二万五〇〇〇人の諸団体で働いている看護婦がいた。附添看護婦は七万五〇〇〇、保健婦は二万五〇〇〇いた。一九四一年合衆国登録病院の看護学校卒業生はアメリカ医療協会の報する所によれば、一一万三〇〇〇人であつた。その他二万五〇〇〇人が医院その他種々の職に働いており、その上分類にふくまれない約二万人の看護婦がいた。又医療施設にゆく二万五〇〇〇は看護学校や病院の管理及び教授の仕事に従事してゐたとおもわれる。

保健事業に於いては、看護婦の数はたえず増加してゐる。十九世紀の終り頃に後に訪同看護婦協会として知られた郷土の看護教育活動が合衆国の北東部及び中央部の各地方に設立された。最初の市による保健業務は一八九八年ロズアンジュルス市の保健部でけじめられた。それ以来保健婦の数は一九〇一年の一三〇人から一九四〇年の二万人以上に

も増加して来た。一九三〇年代の初期には数が少し減つたが、それでもその年代の終りごろにはもつと多くなつた。

この保健婦のなかには、州・郡・市・地区の保健部に任じてゐる一万五〇〇〇人の看護婦、地方の私立保健機関や看護機関で任じてゐる六〇〇〇人、また四〇〇〇人の公立学校看護婦、一・二五人の連邦医療機関および大学で任じてゐる人を含んでゐる。産業方面に従事している看護婦は、病人及び怪我人の応急処置のほかには、主として従業員の保健の仕事をしてゐた。

一九四二年にはアメリカ工場看護婦協会が組織された。今大戦寸前、一九四一年の不況時代に、実際にやどわられていた工場看護婦の数は五〇〇〇人を越えた。

看護婦需要の年々の増加

毎年州認可制看護学校の新卒業生が看護婦の職に流れこんで来た。一九四〇年、彼等は約二万四〇〇〇人をかぞえ、一九四一年には約二万五〇〇〇人であつた。毎年看護婦の職から去つて行く流れは、死亡、不能や、退職や、家事の責任や、その他の個人的理由のために去るものでこれは小さな流れである。職を去る者は一九三〇年から三九年の十年以上の間、毎年およそ一万五、五〇〇人平均であつた。これは毎年の就業看護婦の平均数の六パーセントであつた。それ故、戦前には合衆国の専門看護婦の数は毎年およそ一万人ずつ増加してゐた。

二、戦時中の変化

需要にあらわれた変化

看護に従事する婦人達は婦人の職、クループの中で最初に戦争の衝撃と影響を受けた人達であつた。真珠湾攻撃前の防、戦間中に産業や軍力が大いに伸展したので多くの看護婦が、民間の病院や個人の附添、事を去つて陸軍、あるいは海軍看護婦隊に入つたり、または産業に従事する労働者の看護を行つた。そして、戦争勃発と共に種々の団体が組織されて、登録看護婦は戦争に協力した。一九四〇年に全連邦の看護婦の調査をした結果、登録看護婦約三〇万人が調査に応じたがその内七五、〇〇〇人が軍隊勤務に利用出来るものと判明した。

第二次大戦勃発当時には、七六、〇〇〇人の看護婦が軍隊に奉仕し、二万五、〇〇〇人がアメリカ赤十字看護業務の最初の予備隊に編入された。また一方、産業方面に働く看護婦は一九三八年以来二倍に達し、一九四一年には五、〇〇〇人以上になつた。そして病院や保健所に働く看護婦が著しく不足し、公衆衛生部の見積りでは一九四二年の初めには一万八、〇〇〇人の看護婦学校卒業生が、即刻、私立病院や地方公立病院で必要であり、その上およそ三、〇〇〇人の保健婦が各州、各地方の保健部で必要となる筈であつた。

そして又病人附添看護婦を手に入れることもだん／＼もつかしくなり、急性重病患者

や特別治療を要する患者の爲と、看護婦が極度に不足してどうしても附添看護婦をやれ
わねばならぬときにのみしかやとう事が出来なくなつた。

戦争が長びいたので、民間に於ける看護婦の不足は重大化した。多くの医師を失つて
困つた病院では、専門的な仕事を看護婦達に頼るようになった。そこで病院看護婦は一
九四三年度には、一九四一年度よりも一万人も多く、患者を扱う事になった。

患者の方は、また個人の収入がふえたのと、医療保険制度の発達により入院するも
のが一四万人から一十万人にふえてゐる。又赤坊は一九四一年度に比べて、一九四三年
には五〇〇人以上も多く生れており、これは三十七パーセントの増加である。病院では
看護婦の不足と、その軍関係、産業方面への移動の教しさになやんだ。

監督、教授などの高度に訓練された看護婦の需要は、見習看護婦や不熟練看護婦、看
護助手、附添人等がふえるにつれて大きくなつた。州認可看護学校一三〇校の中、九
一九校からの報告によれば、一九四四年の始には、看護教授の七分の一、監督者の六分
の一が不足してゐた。

一方病院では重症患者や家庭で養へない患者の爲にベットをとつておかわけな
らなかつたので家庭の病人には、保健婦が看護にあたらなければならぬ緊急の狀態に
なつた。

又非戦闘部門の看護婦の需要は特に精神科、整形外科、産科、小児科、伝染病科にお

いて増加した。その上、学童の保健のためや、応急処置を教えるための家庭看護の仕事も看護婦に課せられた。民間診療所も非常に増えて、看護婦の仕事はその方面にも増加した。

産業方面でも益々多くの専門看護婦を雇うようになった。連邦公衆衛生協会によれば、一九四一年度には、この方面には看護婦は五五〇〇人しかいなかったが、一九四三年度には、一万二〇〇〇人になった。多くの州および地方保健部は、その地域の軍需工場に援助を与えるように要求された。篤志訪問看護婦協会では小工場に対して特設制看護の奉仕をする契約をした。

こうゆうわけで、産業・保健・民間及び軍病院などで働くために、個人患者附添をやめた看護婦の数は、益々多くなった。又看護婦学校出の婦人達は、患者附添となるものがますます減った。

一方陸軍では、一九四四年五月に発表した所によると、最初の目標である四万人の看護婦は供給されたが、要求数が五万人に増加したのでやはり不足である。海軍では、同年六月八四〇〇人の看護婦を使用していたが、尚三二〇〇人が必要であつた。このやうに至る所で看護婦は不足していたのである。

看護婦需要数

總計

四一五六八四

軍隊看護需要数

六七七〇〇

全連邦非戦闘看護需要数

九二八八

非国立機関看護需要数

二二〇八三五

病院その他の機関

病人附添看護婦

五五〇〇〇

保健婦

二九六九九

産業方面看護婦

一六八七四

麻醉剤かけに従事するもの

三九六五

その他（診療所づき看護婦レントゲン

一二、三二三

取扱看護婦）

訓練による看護婦 供給の増加

合衆國が眞珠灣攻撃以前の恐怖時代にその防衛に気を入れていた。危機に國民の体力を保持するに看護婦の役目が重要視された。一九四〇年から四一年にわたつた看護にたずさわる人々の全国的調査にもとづいて、議会は一九四一年六月に国防のために看護婦を養成する看護学校を援助するために合衆國保健部が百万ドル以上を支出した。

國家の緊急を認識して州認可の看護婦学校は一九四一年には四〇年より九パーセント多くの学生の入学を認めた。一九四二年六月には、連邦の資金によつて、一三〇の看護婦学校がその設備を拡大し、基礎訓練において三四パーセントも学生の数を増すことが出来、各機関はさらに多くの教師と監督者を雇うことが出来た。

この養成計画をつづけるために、倍以上もの金が一九四二年の七月には出資された。看護婦生徒は長い夏期休暇がないので医学校のやうに休暇をなくすることによつて訓練を短縮することには考へられなかった。五ヶ年の課程をもつたある専門学校では基礎学を縮めることによつて四年にその課程を短縮した。重複した勉強を除くことによつてある学校では普通三年の課程を三十ヶ月に、いや二十四ヶ月乃至二十八ヶ月にまで短縮した。これによつて六月から十二ヶ月の監督の下にする実習期間が必要とされた。

看護学校の数はあまり変りはなく、一九四四年には一三〇七あった。多数の大学、専門学校は、専門学校看護学校課程を加えたが学位の獲得できる看護専門科のある学校は

一九四三年には一ニ校、一九三九年には七五校であつたのに比べて一九四四年には一三七校であつた。

一九四二年―四三年間に五万五〇〇〇人、一九四三年―四四年間に六万五〇〇〇人の新しい学生を増すためには、相当多額の奨学金が必要である。そのために婦人クラブ、総連盟などで殊別募金運動を起し、看護婦養成のための附金・奨学金は開戦後非常に増加した。

けれども戦争が長びいたので、看護婦の募集は一そう必要となつた。産業方面、軍隊の高給な仕事、軍需生産や技術の仕事につくために無料訓練が行なわれたので学費を支拂はねばならぬ。看護学校で三年もあくせくと働き勉強するのに比べては誘惑であつた。そこで保健省の管理する合衆國実習看護婦隊が一九四三年六月十五日と公布されたボルトン法によつて認められた。この法律は看護学校の基礎課定、再教育課定及び卒業後の研究料課程の費用を支給するだけでなく、同隊に入つたすべての学生に対して最初の九ヶ月同生活費を供給することを規定した。その後の生活費は通常看護学校が支給する。隊員はしつ／＼にその訓練がすみ次第軍隊や民間で戦争が終るまで、そして終つてから後六ヶ月間働くことを約束する。一三〇〇の看護学校中一〇〇校以上がこの一定の認可をうけた課程で隊員の訓練に参加してゐた。

一九四四年一月一日現在州認可の看護学校の数は二万二、〇〇〇に達してゐた。その卒

業生の数は一九四四年度には、一九四一年二万五〇〇〇人に比べて、十六パーセント多
く、二万九〇〇〇人位と予想され、一九四五年には、その数は三万三、〇〇〇人になる予
定であつた。

現在の看護婦が活用と再配置

一九四一年に完了した全国的調査によれば、およそ二万五、〇〇〇人程の活動をしてい
ない看護婦が、非常の際には、フル、タイムの勤務につけるものであると報告されてい
る。これらの看護婦のために再教育課程を早急に看護婦学校に設けることが必要であつ
た。一九四二年六月までにおよそ三、〇〇〇人の看護婦が連邦資金の援助を受けた。その
やうにして非常時局を救うとフル、タイムあるいはパートタイムの仕事をするために、
多くの年長看護婦や既婚の看護婦がもどつて来た。七十才以上の看護婦は、病人に食事
を与へるとか、図表を作成するとか、病人と一諸に坐つて相手をするとか、あまり活潑
でない仕事をうけもつた。家の責任を持った既婚の人達はパートタイムの仕事をし、軍務
に服している夫をもつた人達はフル、タイムの仕事にかへつた。開戦後一年経たないと
きにアメリカの看護雑誌にのつたミズリー州の看護婦からの手紙の抜粋はその典型的
なものである。「退職した看護婦達を呼びもどす声は非常に執權なので私は退職後二十
一年たつた今日出て、病棟勤務につかうと決心しました。家には四人の子供が居ります

がそれでもなんとか都合つけています。この病院で午後の三時から十一時迄の間ずっと働きます。……仕事を非常に楽しんでやっています。看護婦学校卒業生はみな私と同じやうに年をとって居り、しばらくの同仕事、もどつて来たものです。私はあまり年をとつてゐてお国のためにもつと奉仕できないことを残念に思ひます。けれども看護婦の需要がつゞく限りは、私はこの一般看護の仕事をつゞけて行きたいと思つて居ります。

「附添人や附添看護婦や看護婦の助手が出来るとな仕事からは出来るだけ専門看護婦の手をけぶいた。所謂病人に対してのつぜいたくな奉仕は看護婦の不足の甚しいところでは中止された。保健婦の仕事の時間を節約し、多くの人にその手をのびすために、連邦保健婦協会では保健婦の業務の調整をしたり、家庭訪問をけぶき、その代りに診療所訪問の方法をとることなどを提議した。

しかし看護婦の分布状況が不均衡なので、ある地方では充分に看護婦の奉仕をうけ、いろいろ思へばまたある地方では極度にその不足になやんでいるという具合であつた。それで看護婦の配置を均等化する方法が計画された。一九四三年には戦時動員委員会に、求人及び配置部が設けられてつぎの仕事をした。

- (一) 民間の看護婦需要とにらみ合わせて、軍隊の需要を充すように看護婦をあつめる

(二) 非戦士人口及び非戦士政府機関に対し出来るだけ看護業務を確保するために、均等分看護婦の配置をおこなうこと

このためには看護婦を左の五種類に分類して、それを各々適所に配置した。

第一種 軍務につき得るもの―重要な職についておらず、軍務につき得る資格のあるもの

第二種 配置換えの出来るもの

第三種 一定期限までに勤務がせられるもの、または、再配置されるまでに限られるもの

第四種 無期限に勤務せうるもの

第五種 身体的障害、高齢、その他の理由で、軍務または民間非常勤務につくことの出来ないもの

篤志看護助手の使用

かんたんな看護業務は専門看護婦の手から附派看護婦や附添人の手にたんにうつっているが、そういう人々の数もやはり限られている。そこで篤志看護助手という団が看護婦をたすけることが必要となつて来た。一九四一年には米国赤十字は、そういう助手を訓練することを企てた。一九四四年四月までは約三万の婦人が八〇時間養成講習を

うけたそして彼女らは陸軍病院一〇〇個所以上と、帰還兵病院二五個所以上および民間病院二〇〇個所以上で、大体二五〇時間ずつ看護奉仕をしていた。はじめのうちはこの訓練をうけた人々は、有給の病院では看護助手として使われように、ときめられていた。しかし後になつて陸軍病院における重大な人買不足を救うために、公務委員会は地方の支部を通して赤十字の講習をうけた看護助手を、時間外勤務を含んで年一四〇〇ドルで有給の業務に採用した。この給料は三年間の訓練をうけた看護婦の受取る給料に近いものであつて、専門看護婦の職を侵害したものと思われた。しかしこの試みは必要以上にはそんなに広くひろまりそうには思われなかつた。何故ならこれらの篤志看護助手の大部分は、家庭の主婦又は、社交界の婦人のような給料をもらう仕事をのぞんでいない人達か、または、会社や商店にすでにつとめている婦人たちで、大切な戦争に奉仕するため臨時に時間をさいてつくうとする人達であつたから。

米国赤十字が一般大衆のためにした家庭看護法の講習も、専門看護婦の需要をいくらか緩和した。一九四四年六月近には、約一〇〇万の人々が二四時間篤志看護講習を終えて自分々々の家庭のちよつとした看護上の必要を扱うことは上手になつていた。あるものは訪問看護婦の篤志助手としてつかわれ、且宅の患者の場合に訪問看護婦を手つた。

三、収入、労働時間、昇進

奉仕しようという動機がいつの時代でも婦人が看護婦の職業に入るときに要因であるが戦時中にはそれは一層重要になつてくる。であるから収入が看護婦の供給におよぼす影響があまり大きくないことは他の職業の場合とちがつていふところである。それにもかゝらず、収入は、看護婦の供給を決定する重大な要因であり、看護婦の職業の分野においてその占有状態に影響する。給料の調整のできるところ、たとへば、新たに建つた軍需工場で他より高い診料を提供するとすぐさま他所で看護婦の不足が反射的にあらはれてくる。そして給料の調整がそう早く行われないような公共機関その他の機関の仕事から、右のようなところの仕事へと看護婦が移動する。

一九四三年七月、戦時勤労奉仕のための全連邦看護婦協議会の記録にはつぎのような記事が記録されている。

「我々は公共の病院経営者に対して、病院看護婦の基本給を、個人病院の看護婦の基本給に近いものとすることの重要なことを、両方力説する。そして看護婦を公共の奉仕に確保するために、人事政策を修正するやうに、両方力説する。と、いうのは看護婦が給料と労働時間とのために、個人病院の仕事に就こうとし、また個人病院に止まらうとしてゐるからである。」

ニューヨーク州の一病院の監督は、その病院の看護婦は戦争のために、一三五名から

八三名に減つた事、それから個人病院で、一日ハドルという新給与を支拂うために、公共病院の看護婦は大量にさらわれてしまつたらう、ということを報告している。一九四一年には、フル・タイムに働きうる（四年四八週）、個人付添看護婦には平均一一九ニドルと二三回の食事とが支給されてゐる。戦時中に、個人看護料金は上つてゐるが、州によつて相当相違がある。一九四四年度に報告された中で一番普通の料金は、八時間労働に対して六ドル、一二時間労働に対して八ドル、二〇時間に対して一〇ドルである。一九四二年秋における、国力以外の病院に働く一般病院専任看護婦の、中位の年收は九ハドルに、衣食住費全部を加えたもので、年一四ハドル位の総額にあたると推定されてゐた。看護学校や看護業務の指導的な地位にあるものは、病院の規模によつては七ニッドルにまでものほつてゐた。ニュウ・ヨーク州看護婦協会では最近一般病院看護婦に対して年一八〇ッドルを適當と推薦している。一九四三年度において、西海岸方面での給料は年一八〇ッドルから二〇〇ッドルと報告されてゐる。これは多分組織的な活動と、工場附看護婦を求める戦時産業方面からの競争とのおかげであらう。

一九四二年国立以外の、公共の、奉仕的医療機関各種における、保健婦の中程度の給料は一六〇ッドルから一九〇ッドルの間であつて、衣食住費はふくまれてゐない。そして監督の、指導的な地位のもので二〇〇ッドルから二六〇ッドル位であつた。保健婦としての地位につくには、少くとも卒業後一年間の勉強が必要とされてゐるのであるから

医療機関においてもまた個人的な業務についても、一般病院附看護婦の給料より高いのは驚くにあたらない。公務関係の仕事では前夜卒業の看護婦には一ハロッドから、健康相談主任保健婦には五六ハロッドまで出している。戦時の非常時中には、四八時間までの時間外勤務の手当を連邦議会が認可していたので一六二ハロッドの仕事の給料も戦時中の所内時間延長で一七七ハロッドの実収賃金になっていた。陸軍、海軍、及び公衆衛生部に服務中の看護婦は、公務関係のものより高い給料をもらっていた。すなわちその給料は一ハロッドから四ハロッドであつたが、これは基本給にすぎないのであつて、食費手当や宿所手当、旅費などをその上にもらつていた。

工場看護婦の給料はまちまちで、その最近の總括的な研究はできない。一般にいつて工場に長い間もとわれていた看護婦の給料は、他の軍工廠であたえられる昇給とくらゐものになるような昇給をつけていない。軍工廠のものは、普通の割合からすれば度々はずれていると報せられてゐる。あるときは月五ハロッドから三ハロッド、年三ハロッドルから三六ハロッドルにより、時間外勤務に対しては一倍半がはらはれる。オハイオ州の調査によれば工場附看護婦の月一五五ハロッド（年一八六ハロッド）から、看護婦長の月二八二ハロッド（年三三八ハロッド）までの差がある。陸軍勤務に対する給料はとくに高い。特定の部門に於ける特殊の技術、たとえば局部麻酔のような技術の訓練をもつた看護婦は割増賃金をほしきゝにしている。例外はたくさんあるが、整形外科、助産、その

他需要の多い特殊技術の訓練をうけ、または経験をもつたものには、普通より高い給料を出そうとする傾向がある。個人の家庭につとめる折は、出産、傳染病、または精神病患者の看護をするものはときには一日二ドルから五ドルをもらい、一般の患者の看護料より高い。

八時間労働制と一週四〇―四八時間制は看護業務では一般に心とめられた習慣となつてゐる。尤も家庭における個人の患者の看護では一二時間から二〇時間勤務がいます。またにある場合に行われてゐる。しかし国立以外の病院全部にわたる最近のしらべによれば、週四〇時間制は稀で、四八時間制代表的であつた。実際には、病院カウチのニッパレントが看護婦に四八時間以上働くことを求めており、一パーセントは五〇時間以上を求めている。戦時中にはもちろん時間外勤務はしばしばあつた。工場では普通時間外手当が支拂われている。また公衆衛生機関でも時間外手当を拂つてゐるところもあるが、その他はところでは大抵、時間外手当を支拂つてゐない。看護婦の職業にのみ移動率の高いことは、一平時で一年に一五パーセントに及ぶこともたびたびある。一多くの病院で長時間勤務を固執するに似た理由になつてゐる。

公衆衛生や公務関係の看護婦にはふつと休暇が一月あるのに比べて大抵の病院看護婦には普通二週間しかないというところや、又大抵の病院では看護婦が失業保険の適用を受けてゐないことなどもまた移動を多くする要因であるといえよう。戦時中には、公

衆衛生機関のあるものは二十四時間勤務の取りきめをして、看護婦の勞働時間を短縮した。それで看護婦の中には他のものよりも長い時間勤務し、不斷に時間外勤務しているものがある。

看護業務に於ては責任の地位に婦人が昇る機関はその部門の規模の大きさと男子との競争がないことから比較的多い。一番そうゆう機会が多いのは、病院や看護婦学校であつて、そこでは婦人は看護婦長、監督看護婦、教師、看護学校指導者、看護主任指導者、それに、時には病院その他の機関の経営者などになることが出来る。経営関係の地位、とくに看護学校における経営者の地位は、普通、看護の専門的素養と共に大学の學位のあるもので、好成績の経験と教授又は経営的な仕事に対する才能とを併せもっているものにあてえられてゐる。またこの他の昇進の道としてはもつと進んだ専門化の方面がある。即ち、局部麻酔、助産術、整形外科看護術、小児科、産科看護術、精神病看護術及び工場衛生などは、看護婦が専門技術においてさらに深い訓練をうけることのできる面である。

保健の面では、健康相談所や、経営や、教授や監督の地位は、普通の保健看護の仕事で立派に働き、必要な専門的素養をもつた人々に与えられる。ある看護婦は他の専門の部面でさらに訓練をうけている。たとえば、物理療術、栄養学、滋養学、図書室の仕事、社会的看護事業など、この場合彼等からは医療機関などでその看護の知識を利用するので

ある。そこで彼等らの二重の素養は宝である。

四、特殊の雇用四處をもつ婦人のための就職機会

年長の婦人

戦争前は、四五才から五〇才以上の看護婦は、監督の、または教授の地位の資格でももつてゐるのでなければ、特殊の個人患者の看護の場合をのぞいては職をみつけることはむづかしかつた。一九四〇年に看護婦としてやとわれていた婦人のうち五五才以上の婦人は五パートセントしかいなかった。そして職をさがしてゐるものの一三パートセントがこの高い年齢の婦人であつた。看護婦学校では三〇才から三五才以上の生徒をめつたに入れたかつた。陸軍看護隊では三〇才以上のものは一人も入れなかつた。海軍では二八才以上のものは入れなかつた。

他方、あまり若すぎてもまた障害となつた。専門看護婦団体は中部西部地方で行つた看護婦調査部では、戦前には、就職するものは三五才位が一番好ましい年齢であつたと報告してゐる。陸軍看護婦の平均年齢は二八才であつた。一九四〇の年度に看護婦として職についたものは約半数へ四八パートセントは二五才から四五才までのあいだであつた。このうちの多くは四介の一へ二八パートセントは二〇才と二四才のあいだであつたが、このうちの多くは大抵まだ看護婦生徒として訓練中のものであつた。就職中の看護婦の平均の年齢は二九才であつて、これは看護婦生徒をいくんでいるため年齢が低くなつたものである。職を求めてゐる看護婦の中間をとれば三六才がある。

戦争で突然事情が変った。戦時勤務のための全軍看護婦協議会は、それまでに登録してある看護婦はみな奉仕するよう要請された。彼等らは再教育をうけ、最も有効に働ける地位に配置された。彼等らの年齢よりもむしろ、その身体と看護技術の能力が、勤務割当をする際の標準となつた。七のオを越えた看護婦がフルタイム、またはパートタイムの仕事にもどり、大抵個人患者の看護についたが、また病院やその他の医療機関職員として、専門看護婦の訓練と熟練を必要とするもので、比較的緊張度の高い勤務を行つた。これらの軍長婦人の復帰したおかげで、それより若い看護婦が陸軍または海軍の看護隊に入るこゝとができるようになったので、軍隊の最高年齢制限は四五オまたは四のオまで引きあげられた。しかし、今では軍隊に勤務していた若い看護婦たちが戦後の平時勤務に働くようになったので、多分戦前と同じような状態が起ることであろう。すなわち、中年看護婦が一番好まれるだろう。そこでそれより年長の看護婦は、この間に教授または監督の資格を得ておかなければ、個人の附随に限られることになるだろう。

既婚婦人

看護婦の教育は主婦となるためには、まことによい素養をあたえてくれるのであるが、戦前には、限られたある看護業務の外は、看護の実習と結婚とを、むすびつけることはうまくゆかなかつた。既婚婦人は大抵の看護学校では生徒として入学させなかつた。というの

は病院に住込むことを、家庭を外にもつてゐることとの間にはあきらかに矛盾があるからである。大抵の病院や医療機関や、保健所などでもやはり独立者の方をえらんだ。陸海軍の看護婦は結婚したら辞職せねばならなかつた。結婚してなお看護婦を続けようとするもののために、工場附看護婦や個人の家庭の看護婦などが、その主な分野であつた。一九四三年度の登録名簿へのつていたこの分野の現職の看護婦の半数が結婚してゐた。しかしながら看護婦配置部の報告によれば、この分野のは争いにおいてすら、看護婦がたやすく手に入れることのできた不況時代には結婚してゐることは看護婦配置の障害となつてゐた。とくに既婚婦人をやとうことが一般にさうわれてきたところの中部西部諸州ではこの傾向があつた。

既婚看護婦は、年長の看護婦と同じく、戦争のおかげで突然人氣を博するようになった。彼等らは、パートタイムでもよいから看護の仕事にもどつてもらいたいとすゝめられた。そしてその通りになつた。一九四三年には一九二七年度の二のパーセントに比べて現職看護婦の四のパーセントが既婚者であつた。今日では既婚の看護婦が多数、個人的な看護や、公衆衛生関係や、病院やその他の医療機関に、非戦闘員としてのみならず、また陸軍看護隊や合衆國公衆衛生部などに將校として働いてゐる。海軍では結婚と同時に辞職を要求する方針のために、一九四五年一月までに一ヶ月一〇〇名から一五〇名までの看護婦を失つてゐたので、同一月にこの方針を取止めた。とくに看護婦の不足がひどい病院では、

看護婦が病院で勤務についているあいだ、その子供たちの世話をする。托児所などをひら
いている。一九四二年度には五三ヶ所の保健所のうち三六ヶ所だけが、既婚婦人をやと
わない方針であると報告されてをり。他方、一一六ヶ所では、妊娠中の看護婦が家庭訪問
を取り止めることについて種々の方策をたてゝいた。今日では多くの看護学校で、生徒が
結婚後も訓練を続けることを許可しており若干の学校では、妊娠した既婚の生徒が、病院
の職員である産科医師の監督の下に産前産後の期間に、看護婦訓練をつゞけることの規則
をつゞつてゐるものさえある。

戦後にはまた多くの制限がもとのようにもどつてくるだろう。なぜなら、看護婦
ふえたのは、ひどく不足してゐたためでなく、軍隊に入つてゐた夫たちの不在のため、
看護婦生徒や、学校を卒業した看護婦らの主婦としての責任を減らしてゐたためであるか
らである。しかしながら、家庭を維持してゆくことと看護婦のつとめとが矛盾しないよう
な人の場合には、戦時中の経験の結果、結婚に対する不必要に厳しい制限は緩和すること
にはなるだろう、そして個々の看護婦の資格と、勤務の可能性にむしろ重点をおくことに
なるだろう。

看護婦の三分の一強が卒業後三年以内にかつた結婚してゐるので、結婚に対する制限は
相当多くの看護婦の層に影響を及ぼすことになる。それでも一九四〇年には、専ら看護婦
としてやとわれていたすべての婦人の約三分の一が結婚してゐたが、結婚の経験がある人

たちだつた。へもし看護婦生徒をもめくめればこの比率は四分の一におちる。女医の方はこれにくらべて、結婚しても看護婦ほど障害にはならないのであつて、一九四〇年度には職についでいる女医の半分以上結婚してゐるが、または結婚したことのあるものであつた。もう一つ別の角度からみると既婚の女医の割合は、職についでゐるものと、ついでないものとの両方に同じ割合であつたが、看護婦の方は、職についでないものの半数が結婚してゐるのにくらべて、職についでゐるものは、三分の一が結婚してゐるものであつた。

ニガロの婦人

一九四〇年度には、全連邦で訓練をすませた看護婦および看護婦生徒のうち七二九二人へニパーセントのニガロの婦人であつた。ニガロには翌年希望での看護するものがあつたのであるが一八九一年までは適當な訓練をうけることができなかった。一八九一年にはじめ、ニガロの看護婦学校がひらかれた。一九〇八年までには卒業生は充分多数となつて全連邦黒人有資格看護協会が形成されることになり、一九四〇年度には九八〇名の会員があり、一九四四年度には一二〇〇名となりた。一九四四年度には合衆国内の学校卒業のニガロの看護婦は九〇〇名をかぞへた。戦前における彼等らの主なけ口は、ニガロの病院、医療機関や、北部の大きな公共病院や、多数のニガロ患者を收容してゐる地方の公立または私立の公衆衛生機関などであつた。一九四一年度には現職のニガロ看護婦のうち

ちの六三パーセントが病院や医療機関の仕事をしており、二ハートセントが公衆衛生関係に働いていた。個人看護と工場看護の仕事には就職の機会がほとんどないことは、ニガロ看護婦のあずか六三パーセントが個人看護につとめており、一パーセントが工場看護婦をしてゐるにすぎぬことである。教授や、監督の仕事につくには、卒業後の研究科の訓練が必要なのであるが、ニガロは専門的な訓練に入ることをゆるされてゐなかつたので、そのような地位につくことができなかった。

戦時中には、一般教育庁から経費を出してもらつて特別の職員が戦時勤務のための全連邦看護婦会議に加入つて、戦争のためニガロの看護婦の養成と使用とを助長するため、講習会を用いたり、看護婦学校や専門学校を視察したりした。一九四四年までには看護婦学校出のニガロ看護婦の数は入りの二かぞえた。官立または私立公衆衛生機関に働いてゐるもののほか、戦時食糧管理司、退役軍人管理部および米國赤十字などにもやとわれゐるものもあつた。陸軍看護隊中には二五五名のニガロがあり、そのうちのあるものは海外でも行つてゐた。またもつと多数のニガロが、陸軍または海軍の看護隊に志願したか、海軍ではまだニガロを採用してゐない。しかし一九四五年には、海軍では、ニガロの看護婦にも差別はない。もし彼等らが資格をそなへていれば、現役の海軍勤務にも採用されるだろうとの声明を出してゐる。

平時勤務においてニガロが一番効果をあげたのは、ニューヨークの病院においてである。

と報告されてゐるが、ニューヨークでは一九四二年度には、ニウ・ヨーク市立病院に働くニガロ看護婦は、一二五〇名に達してゐた。

ニガロの婦人が看護婦の教育をうける機会は、戦時中に大いに増大したのであつて、第一、公衆衛生奉仕基金からあたえられた奨励金により、また彼等は、看護見習士官部隊によつて奨励されたものである。一九四四年度に同部隊には約二〇〇〇名のニガロ婦人がいた。一九四一年度には二九の看護婦學校しかニガロの生徒を入学させなかつたが、一九四四年度には、四二の學校が入学させてゐる。ニガロを入学させてゐる學校のなかには、種々異つた病氣をとりあつた大診療で知られてゐる病院、たとえばフィラデルフィア総合病院とか、メルグユウ病院（ニウ・ヨーク）などがある。また學位獲得を目標とする専門學校課程をもつてゐる九つの學校でニガロの生徒の入学を許可してゐる。戦後にも、充分に訓練をうけたニガロの看護婦は、とくに南部の田舎の方での公衆衛生勤務と、また北部の大都市とに求められるだらう。

身体障害のある婦人

身体障害は何にしても看護の職にはさまざまとなるだらう、何故なら看護婦の仕事は種々雑多であり、たえず患者と接觸するし、病人や負傷者の看護をする際にもなう圧迫感と緊張の下で働くのに入用な肉體の根氣力などが要るからである。非常の際には敏速に振

舞えること、患者の安泰のためには即座に止ねばならないようなことはたとえどんなに卑しい仕事であろうともその手をすぐには止さねばならぬため、体力に制限あり、尿護を要するような人やとうことは困難である。この理由から、看護婦学校では一般的健康と身体能力については嚴重な要件を守つており、入学の時にも、また養成中も定期的に嚴格な身体検査をしている。しかしながらある学校では、たとえは結核の固定したものの、整形外科疾患の矯正されたものの場合は、その生徒の身体状況が許すようであれば、生徒として入学させることもある。

五、戦後の展望

一九三〇年代の不況時代の失業時代を想起して看護婦のなかには戦後には多分看護婦の供給過剰がおこるだろうと憂ひているものがある。そこで戦後の供給状況はどうなるだろうか、戦後の看護業務に対する需要はどのようになるだろうか。

戦後の看護婦供給

戦争がいづ終るかはわからないので、豫測は仮定の上でされる。もし看護見習士官計画が一九四四年と同じく一九四五年を通じて全能力でつづけられるとすれば、そしてこの二ヶ年をあわせて看護婦学校に入る生徒の数が一二万五、五〇〇人の目標に達するとすれば、一九四八年度には、戦前の傾向がついたとして看護業務につく予定数を上廻ること四万

入の〇〇人ということになるだろう。

これは最大限推定数と考へてよい。というのは、看護婦生徒の中途退学率も、また戦後の退職数についても考慮が押おれていないからである。

戦後の需要

しへしとしかく、四万八〇〇〇人の余分の看護という、最大限の基礎の上に勘定し、異常の退職などを既定しないとして、戦後の需要は、この大群を喰いとるほど大きいものだろうか。この数は一九四〇年度の合衆國人口調査の報するへ看護婦生徒を差し引いて、全専門看護婦の一七パーセントにひとしいものである。

一九四〇年度には、供給よりもずつと多くの看護婦の需要があつたことはうたがふ余地はない。東北部諸州で、二七一人に對して一人の看護婦が雇われている勘定とすれば、南部諸州では五七四人に一人であるから、たしかにもつと看護婦を使へてよいはずである。一九四〇年度の三〇〇〇人以上に一人の割合で看護婦をもつていた農村の人々には、都市の二五四人に一人の割合にもう少し近い割合で看護婦が雇用であることはわかり切つたことである。看護婦の入用なことについては、合衆國公衆衛生部のジョセフ・マウンテイン博士の云つたことは眞実である。すなわち「看護婦というものは、あらゆる人生行路のうち、人々の絶えない必要をみたすために、その技術が工夫されているという点で、幸運児である。……看護婦が本当に余計にあつたなどということとはかつてなかつたことである」

と。

しかしながら、博士も警告している。「もし平時経済への復帰によつて、國家の、および個人の収入が實質的に減少するならば、看護婦も、他の業務を調達するものと同じく、不利な影響を蒙ることになるだろう。」

戦後の需要は戦時の必要をみたすために用意された、四万八、〇〇〇人の余分の看護婦を吸収してしまふだけ大きなものだろうか。その半数以上、すなわち二万七、〇〇〇人は、容易に推定出来る余分の必要すなはち、人口の増加と、復員者その他の連邦の仕方のための必要で、仕方が出来ると考へられる。

人口と看護婦需要の増加

戦後には、人口の増える部分に対して、戦前の標準ですれば、看護婦業務を供給するには、二万一、〇〇〇名の看護婦が余計に入用となる。人口調査局によれば、合衆國の人口は一九四〇年以來すでに四パーセント増えている。一九四八年度の人口は、一九四五年度および一九五〇年度の人口の推定にもとずけば一億四二〇〇万となる予定で、一九四〇年度より一〇〇万（七・五パーセント）増えるはずである。それ故、一九四〇年度の数より看護婦の数も七・五パーセント増やすことが、看護婦をこの増加した人口に供給するには、必要となつてくる。

その上、前にも述べたように、人口増加は、看護を受ける必要が一層多いところの、六

五才以上の人口が比較的高い増殖率を示している。ニューヨーク市のベルグユウ病院に入院している患者を最近調査したところによると、どの年齢層においても入院期間の平均の長さが延びており、高齢者ほどその期間が長くなつてゐる。このような看護婦需要数の増加は、看護業務内容の自然の増加と共に長期にわたる傾向であると考え、まよいのであつて、この傾向に対し、それは、戦前の自然の増加が年一〇〇〇人位づゝであつたので、その程度で固くあうであらう。しかし、帰還軍人その他の需要をみたすためには、さらに余分の看護婦が入用であらう。

将来看護をうけるための用意

戦争以来一そう健康に關心をはらうようになり、一般非戦闘員でも病氣になると、今までよりもっと充分の看護をうけようとし、また、収入のうち今までよりも多くをそれにかたくようになつた。そして、市民としても自分の住む社会のために、もつとすぐれた健康設備をつくるような方法を講じるようになった。災害、疾病保険、労務者災害保険、集団病院制度、病院および家庭の医療看護費前払い、および集団衛生計画、などが発達した。とくに将来病氣の折医療をうけるために、前以つて方法を講じておくことが考えられ、長期間の病氣の折の経済的負担を救うことが考えられるようになった。

主な看護部門と特定の部門の発達

一定の経済状態の下では各職業の中で需要の推移があるが同様に看護の仕事の中でも看

護婦の種類によつて需要の推移がある。そこで戦後の看護部門における戦後の見通しを考へてみる必要がある。

・病院 療養所等の看護婦

医学界の雄威によれば、戦後最初の十年間には新たに民間病院の建設をしたり拡張したりするのになくとも三億ドルが必要であると推定されている。全連邦および州、地方公共事業計画に病院建設をふくめるように計画中である。その代表的なものに、ワシントン・ホスピタル・センターの計画がある。また陸海軍病院でもはや不用となり帰還兵療養所に施用されない病院施設は民間にまわされる可能性もある。

しかし病院施設が拡張されないとしても戦前の傾向からすれば養成所出身の看護婦は病院にはもつと必要となるはずである。その傾向とは

(一) 学校出の専門看護婦が病院でだん／＼多く使われる。これは戦時中やんでいたが、またおこる傾向である。

(二) 専門看護婦の労働時間をへらす、八時間労働性、週労働時間の短縮、休暇の延長等戦争でとりやめていたことがまた問題となつてくる。

(三) 外科および産科入院患者の入院期間が短くなる結果患者の移動率は高くなり入院中の患者の看護に一そう努力を集中しなければならぬ。

(四) 新式治療法が発達し、医師の仕事がだん／＼複雑になつて行くにつれ、もとは医師がしてゐたような処置を専門看護婦がするようになる。たとえば静脈注射、輸血、血圧はかり、洗滌、局所麻酔かけ、酸素吸入など。

以上の傾向から看護婦はよけに必要となるばかりでなく、病院や療養所の看護婦の移動の多いことから、過去においては、この分野に多くの缺員があつたのである。時としては年に一五〇パーセントと云う高い移動率は、たいへいの病院の特徴である長時間労働とともに、病院内に住まねばならない身分上の制限のためである。また給料もおもしろくない。またこの仕事には、若い看護婦がすくなく結婚して退職することや、病院で専門看護婦としての経験をもつてゐることが、さういふ責任ある仕事や一さう進んだ研究をするのに必要な條件であることなどが、やはり看護婦の缺員の多い原因となる。一九四〇の年度には、看護婦生徒の約一二万五〇〇〇人の看護婦が病院、看護婦学校、その他の医療機関にいた。公衆衛生部の推定によれば、戦後の人口一億三八〇〇万に奉仕するには、三〇万七六〇〇の病院看護婦が入用である。その内訳は、二六万一五〇〇が一級病院に、三万八〇〇〇が精神病院に、一万五三〇〇が結核病院に入用である。合衆国民は個人としても、地方公共団体の構成員としても、一州の市民としても、また連邦の市民としても、病院における専門看護婦の看護をうけるための方策をだん／＼に講じてゐる。たしかに一般の傾向はさういふ方向に向つてゐる。

・病院、看護婦学校の経営、監督、教授の職

入院患者と一般病院看護婦の数が増加した、あ、卒業前の看護婦だけでなく学校出の看護婦に重い責任をもたせるように仕込むために資格ある監督者、経営者および教授が、入用となる。また附添看護婦や、篤志看護助手を使うことが増加したので監督の必要が示れた。約二万五〇〇〇人の看護婦が経営や教授の仕事についているが、それは現職専門看護婦の八一〇パーセントにあたる。

・個人患者附添看護婦

個人患者附添看護婦は、減つて行く傾向であつたが、戦時中には、軍隊、産業、病院又は公衆衛生方面に、附添看護婦が、移動したために、尚更減つた。戦石においては、附添看護婦の需要は、國民の収入によつて左右されるであらう。専門看護婦は、大部分が病院その他の機関で働くことになる。附添看護婦をつけるのは、収入の多い患者に限られることになる。

ざつといつて、一二万の附添看護婦は、収入高の順からみて、全國民の十パーセント位までの人に附添することになる。又注目すべきことは、大抵の附添看護婦がパート・タイムの働き手である。といふことである。そして大抵の附添看護婦は病院看護婦よりも収入が少く、安定性が少い。

多くの重患者は入院するので、輕少患者をかくえらるる家庭では、附添看護婦を雇ひ、

そして簡単な家庭看護と同時に家事をしなくてはならぬ。ある人は監督なしで家庭で働く附添看護婦は、時には標準以下の看護しかせず、家庭の風習に適合しない批評する。

この附添看護婦は、戦前は、専門看護婦の最大の競走者となるだろう。彼等らは、看護婦学校の中途退学者又は、充分な訓練をうけない看護婦である。そこで一九四四年にはアメリカ看護婦協会の附添看護婦課では、附添看護婦が、もつと立派な看護を行うための標準をたてるために特別の委員会を設けた。戦時中には標準以下の看護学校が存在してゐた。将来にも、附添看護婦が結核・整形外科・小児科・精神病科・および産科の看護に与るとされることになれば、附添看護婦は、もつと誤山必要になるであろう。戦争の経験は、専門看護婦の熟練だけでなく附添看護婦の熟練も有用であることを證明した。戦前には、人は専門看護婦と附添看護婦の違ひは、主に看護料金のちがひであると想つてゐた。

戦争によつて一般大衆は、両者の働きがちがひを認めるようになり、看護の水準に高下があるとは考えなくなつた。熟練した附添看護婦は、次第に家庭における長期間の看護に従うようになり、一方専門看護婦は、今までのより一層病院の患者の世話をしたり、公共団体の看護機関に働いたり、公共団体の看護機関に働いたり又は時間制の看護業務に従うようになった。又戦前からすでに、パートタイムの看護を要求する人のために時間制の看護が患者附添にも又公衆衛生看護にも行はれてゐた。こゝに未用括の節面がある。登録看護婦および訪問看護婦協会では、この種の時間を制限した看護の重大さを強調してゐる。

しかしながら結局は、他の看護婦部門に比べて附添看護婦の部門は減つて行くであらう。

・保健婦

戦前には、保健婦の職につくための教育は、相当高かつたが、看護婦学校卒業生の約十パーセントが保健婦になつてゐた。一九四一年には、現職保健婦六九パーセントが専門学校に勤め、又それより多くの保健婦が専門学校教育をうけてゐた。公衆衛生部によれば一九三七年―一九四〇年の間に保健婦は一九パーセント増加した。

一九三六年に始つた社会保険計画と、その他の政府の方策とが一緒になつて保健婦の増加に役立つた。社会保険法施行の第一年目に、一〇〇〇名以上の保健婦を増加させた。一九三七年度までには、都市と農村の保健婦の保健婦は、一九パーセント増加しこれまでには、全然なかつたような農村地方において、保健婦が二〇〇以上つくられた。

社会保険法には、又および母子の健康および不具児童のための対策を講ずるために、國家に基金を設ける施策をも含んでゐる。この基金のほかに一般國民および母子の健康のため、大學教育を、保健婦に受けさせるために一年一〇〇万ドルを支出してゐる。

このように発展してゐるにも抱らず、合衆國では約三〇〇〇の即の中八二六郡と、二八郡市にいまは保健婦というやうなものが無いもし一般にいわれている標準である、二〇〇〇の一人に一人という割合をみるとするなら、戦后の一億三八〇〇万の人口に対して六万九千人の保健婦が必要である。そのような数字に達するには、まだ年数もかゝることであ

るが、尿健婦は、その方向にもなつて増加している。尿健婦は、結核と性病の国とあがての撲滅運動において、医師と共に第一線に働くものである。最近米國や会において合衆國公衆衛生部内に結核予防課を新設することを認可したが、そのために、第一年度に二〇〇万ドルを支出することになつてゐる。その結果相当数の尿健婦を雇ふことになるであらう。

専門看護婦協会では、学校出の看護婦十人の中一人が、公衆衛生の仕事につく教育を受けるべきであると提案している。尿健婦は国立、州立、地方公立の医療機関ばかりでなく、訪問看護婦協会とか、私立学校などのような私立機関や、尿疾会社などにも雇われる。

先にも述べた通り病床の看護と特別治療に、パートタイムの看護の需要が増したので、戦前は時間制の看護が急遽し約束によつて患者から料金が支拂われたが、それは終日又は週四日めで働く看護婦よりも高い率で料金をうけていた。戦時中には、パートタイムの制度は一度中止されたが、戦後には、専門看護および尿健機関では、この制度をとることになるであらう。公衆衛生部門においては、学校看護、結核看護、性病看護、整形外科看護、助産、小児科、産科の看護、精神病看護および視覚又は聴覚に缺陷あるものの看護に、監督者の地位にある技師が特に急遽した。一九四一年には、教育委員会は、公立学校において、一九三一年度の看護婦数より三分の一増加した看護婦を雇つた。尿健省でも学童の尿健のために看護婦を次第に多く雇うようになつてゐる。私立の学校や

専門学校でも職員の中にアール・タイムの看護婦をやっている。

・工場看護婦

戦時中には、多数の労働者が製造および輸送関係産業に拘はつたため、工場看護婦の数が増えた。戦後、産業が萎縮するのに従つて労働者の数は減るのであるが、看護婦は、戦争直後の一時的現象はあつても再び増え行くであろう。

工場看護婦には二種の職務がある。

(1) 非常災害又は疾病の際の応急手当

(2) 予防および治療業務を含む尿療看護

(2)の方は戦争中特に発達したが、戦後には一番収縮するだろう。一九四一年度には、工場看護婦の中の僅か四パーセントだけが尿療婦としての一年の訓練を受けたものであつたがその訓練は、病院に於る看護と応急手当方法に關するものであつて、是非とも必要なものである。それだけの訓練を受けたものは、戦後にも、工場看護婦として、その地位に留るのに困難はない。しかし学校を出たばかりで、特別の訓練又は経験を持たないのに、看護婦が足りないという理由で高給を貰う工場看護婦となつた者は、その後、訓練を完全に受けなければ、或いは面白くない仕事、又はほかの分野へ配置転換させられねばならぬ。工場看護婦は労働者災害振恤法・災害予防・工場衛生・職業病および安全施設などに關する特別の知識が必要なので、最近工場看護婦になるための特別の計画がたてられてい

る。

工場看護婦は、まだ足りないのので、合衆國公衆衛生部の推薦する割合即ち労働者三〇〇人に対し一人の看護婦・六〇〇名に対し三人以上、一〇〇〇名に対し三人以上というのに該当する工場は少い。

産業によつて看護婦の必要数もかわる。例へば、産業上の災害は、炭炭会社よりも鋼鉄工業の方が多い。しかし全連邦保健婦協会では、五〇〇人——六〇〇人から一人の看護婦が最低限の数であるとしている。

ペンシルバニア産業衛生局が約三〇〇〇の工場の調査を一九四三年にしたが、それによると、塵かハパーセントの工場で、フルタイムの工場看護婦をおき、ニパーセントがパート・タイムの看護婦を置いていた。約三七萬人の右の工場労働者に工場看護婦がつけてあったことになる。又別の一〇〇〇工場の調査では、八〇〇名の労働者に一人の看護婦であった。同じ頃カルフォルニアでは、三、五〇〇人の労働者に対して一人の看護婦がついていた。公衆衛生部の算定によれば戦後の人口一億三千八百萬に対して二萬人の工場看護婦が必要になりこれは戦時中の数よりも三分の二の増加であり、戦前の数の四倍にあたる。

工場看護婦についての一つの問題は、小工場においては、一人のフルタイムの看護婦をおくには、経営者が少なすぎる場合が度々にある。そこで多くの小工場は、地方の私立および公立の保健機関と結んでパート・タイムの看護婦を雇っている。又多くの労働組合で

も組合員のため、健康看護設備をしている。

・その他の分野の看護婦

以上のべた分野の看護婦のほか、次のような分野でも又、戦時には看護婦が働くであろう。

1. 医師の助手として

2. 航空機、汽車、汽船の旅客の看護のため（主として応急處置）

公衆衛生部では、この種の看護婦は戦後の人口一億三千八百万に対して約一万四千五百人位必要であろうと計算している。

六 戦争と人口増加による看護婦の需要

戦時中に非常に増えた看護婦は戦後には戦後の結果として、おこる看護婦に対する需要を満すことになろう。又人口の増加に対して、看護婦の必要も増えることになる。あちましの推定であるが一九四八年までには、一九四〇年度の数よりも二萬七千名だけ多くの看護婦が入用となる。

七 看護婦業務を見定させるための需要

右のべた二萬七千人をこえる過重の看護婦は、病院その他で戦時中よりもっと多くもつと充実に看護を要求されるために自然に吸収されて行くであろう。

概算によれば、過重の看護婦数は、一九四八年度までに二万一の人の予定で、一九四〇年度の人口調査に報告された学校出の看護婦の七・五パーセントにあたる。その上この計算とは別であるが戦後の看護婦の向における結婚率の高いことは、救世らの退職を増加させるであらう。

八 看護業務計画における社会の責任

一定の社会に役立つ看護業務は、その社会の全諸成員にとって重要なことである。それ故看護婦は、大少を問はず地方の人口の重要な構成分子となる。戦後地方公共団体では、次のようなことを計画をすべきであらう。

- 一、その社会では看護婦とどの程度に要求している。
- 二、その要求を満すためにはその土地の看護婦は、いかにすれば最もよく利用できるか。
- 三、看護婦を配置するにあつて需要と供給の間に最もよくバランスをとるためには、他の社会との交渉は如何にされるべきか。

九 看護婦は熟練と知識を増す責任がある

戦後の状況がどのようになろうとも、看護婦を最も有効に使い、適切に配置するため、社会に対する訓書は、看護婦を向上させることに役立つ。個人的な看護婦も又その資格に一層の訓練と経験を加えることによつて、望ましい職を得る。ように将来の見通しを持つ二

ことが出来る。専門看護婦に対しては、從來もつと長い専門学校教育を終えることが要求されて来た。充分な訓練をうけ、他方面の技術を持つた、要求される特殊技能を身につけた看護婦には失業の心配がない。この理由から戦争のために充分な訓練をうけずに軍隊又は工場の看護婦として入つた若い看護婦は、研究科の訓練をつゞけて受けるのがよいだろう。

一〇 他の職業への転換の可能性

戦争のために愛國的な動機から看護婦になつたもののの中には、看護婦としては成功しないが、他の仕事に適している者がある。そういう人々には看護婦としての訓練が、経歴として役に立つような仕事がある。例えば賣子、特に医療品、家庭用品、食料品、化粧品、避妊器具、又は医療保険員などは一つのはけ口である。宿屋の主人、接待係、又エア・ガール等もよい。医療関係方面の事務労働も就職口である。

病院栄養士とならない者は栄養学を専攻する必要がある。又医療関係方面で記録係又は社会事業家になりたい者は、医療記録係又は医療社会事業家としての特別の訓練をうける必要がある。

更にもつと看護婦と近い関係のある仕事としては、物理療法士およびX光線技師の仕事がある。

一一 看護婦の職業に戦争があつた影響

概して戦争の経験は、看護婦の仕事に利益と同時に負担を與えた。國內戦時計画委員会では、看護婦の職業を「全國民に病氣の時と健康の時の必要を満すために高い水準の看護を供給し、維持する」ことを計画している。

この目的を達するためには、次のことが必要である。

1. 米國民の看護に対する需要を判定すること。

2. あらゆる種類の看護に対する目下の需要を満すために入用な看護婦の数を決定すること。

3. 社会的計画がすゝむにつれて、餘分の需要をみたすために方法を講ずること。

4. 現在の化学的知識によつて與えられる最上の看護が出来るように看護婦を教育すること。

5. 使用者と従業者とを満足させ、そして看護婦が社会にほどこす業務にツリ合ふ報酬を與えるような人事政策と方法とを奨励し、発展させること。

6. 看護費用を均等に割りあてることにより、看護を必要とするすべての人に看護を与えるような計画を奨励し、支持すること。

7. 公衆と看護婦とをまもるような基準を奨励し、発展させ設置すること。

8. 公衆に看護が病人をいやし、積極的に健康を増進するのにどの位貢献しているかをしらせ、その結果、総合的な社会計画が發展し、支持されるようにすること。

又看護婦がその責任と機会を理解し受け入れるのを助けらるために、看護婦のための進歩的指導計画をつくること。

10. 以上の計画を民族・信仰・皮膚の色・経済状態又は地理的位置に關係なく支持すること。

職名辞典による看護婦の定義

・看護婦（三）へ医療業務） 〇―三三、一〇

病氣または負傷した人を看護する技術において、規定の教育、経験、および熟練を要する種々の看護任務を果す。家庭または病院、診療病院、療養所、その他の機関などにおいて一般的看護業務を行う。医師の指図にしたがつて内服薬、塗料および薬品を施す。症状を観察し、体温、脈搏、および呼吸をとり、記録し、標準の習慣によつて図表をつける。創傷または負傷の繃帯をとりかえ、患者を入浴させ、マッサージし、無力の患者に食事をたべさせ、患者の指図する食事を調理し、マヤリ、手術室の準備をする。器具を消毒し、医師の指図にしたがつて、注射その他の処置をする。看護婦の代表的な分類としては、患者に附添看護婦、保健看護婦、病院看護婦がある。

・アメリカ看護婦協会の定義する専門的看護と専門看護婦

専門的看護とは、州から看護の認可を受けた個々人の科学的医学の原則にもとづき、病院附属の看護学校の規程の課程によつて獲得せられ、國家によりその目的のために公認せられ、治療または豫防医学をあわせて実習したところの、知識的造詣と態度と、手先の熟練との綜合である。

それ故、専門看護婦とはその州において、登録に必要とするその法律的条件に適し、そしてその専門的知識および法律上の地位によつてその職を執行し、またはその職をもつてゐるものという。

・職名辞典による病院専属看護婦の定義

病院専属看護婦 —— 一般床上任務の看護婦、一般病院職員としての看護婦（医療業務）

〇——三三 二六

病院において一般的看護婦業務を果し、「看護婦第三条項」の下に記載されている任務の遂行に際して医師の命令を実行し、一定限枚内の患者の要求をみなす。

・職名辞典による個人附添看護婦の定義

個人看護婦 —— 患者附添の看護婦、特別看護婦（医療業務）〇——三三 二八 病院
家庭、または療養所において「看護婦第三条項」の下に記載されている任務を行つて、患

者附添看護にしたらう。

看護婦職業連盟会員による患者附添看護の定義

患者附添業務における看護とは、そのような看護に対し看護婦に直接支拂いをするところの一人以上の患者に看護をあたえることである。……この分野では、看護婦には患者と共に旅行することを要せられる。

特別または附添看護婦は、……医者が、患者かどちらかの要求によつて一人以上の患者に看護をあたえ、患者から直接にまたは患者の健康に関係ある一定の機関から支拂いを受ける。

職名辞典による保健看護婦の定義

保健看護婦（医療業務）〇一 三三、四二、信用ある看護婦学校を卒業したことを條件とし、看護を行い、素人を保健教育と病氣予防に關して指導することの訓練を専門に受けたもので、つぎの任務のうちの一つまたは綜合したものを行ふ。すなわち、医療手当の必要な病氣のケースを当該市町村内で探し出して、早期診断を受け、病氣の治療を受けることとをたすける。看護をほどこし、患者の手当または健康に適する環境の維持に關して家庭を指導する。精神錯乱、肉体の畸形、傳染病などにおかされてゐる患者に特殊の治療をほどこし、乳幼児とその母親の健康状態に氣をくばる。また、各種産業の、官庁の、または

商賣上の事業所の従業員看護をし、診察する医師を助け、指定された地域において、一般公衆衛生業務をおこなない。児童の健康保護のための計画に参加し、重要な統計の編さんのための特殊な研究を行うのを助ける。通常、看護婦第三種の項の下に、規定してある看護業務をおこなう。看護の仕事をする機関によつて、また、その果す看護業務の種類によつて、つぎのように特定の名称があたえられる。すなわち、病院看護婦、傳染病看護婦、時間制看護婦、事業所付看護婦、幼児保護看護婦、保険会社附看護婦、産院看護婦、整形外科看護婦、小児科看護婦、精神病科看護婦、保健看護婦、一般看護婦、学校看護婦、結核病看護婦、性病看護婦、訪問看護婦等。

・連邦公衆衛生看護機関の定義する保健看護

保健看護とは、公共団体または機関が公衆衛生計画の一部面または全部面を実施するのとをたすける目的で行うすべての看護業務をいふ。……この看護業務は、個人単位にでも、家族単位にでも、また公共団体単位にでも、行われるものであつて、家庭に対しても、学校、診療所、事務所、または、種々の機関の事務所などに対しても行われるものである。

